

令和6年度 事業報告書

那珂川町社会福祉協議会

【会計区分:地域福祉推進事業拠点】

1. 法人運営事業【主な財源:町補助金、社協会費】

◇ 法人運営の基盤整備と経営体制の強化

○会長及び常務理事の出勤状況

決裁、理事会並びに評議員会、その他の会議等

会長:50日 常務理事:75日

○専決処分の状況

- ・嘱託職員取扱要綱の一部改定について
- ・臨時職員取扱要綱の一部改定について
- ・令和6年度資金収支補正予算の専決について

○理事会

第1回理事会 [期日]令和6年5月24日 [会場]馬頭総合福祉センター

[出席]理事:8名、監事:2名

[議事]・令和5年度資金収支補正予算の専決について

- ・理事候補者の選出について
- ・評議員選任・解任委員の選出について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・令和6年度資金収支補正予算について
- ・令和5年度事業報告について
- ・令和5年度資金収支決算について
- ・評議員選任・解任委員会の開催について
- ・定時評議員会の開催等について

第2回理事会 [期日]令和6年10月23日 [会場]馬頭総合福祉センター

[出席]理事:9名、監事:2名

[議事]・執行状況等の報告について

- ・嘱託職員取扱要綱の一部改定について
- ・臨時職員取扱要綱の一部改定について
- ・副会長の互選について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・令和6年度資金収支補正予算について
- ・評議員選任・解任委員会の開催について
- ・評議員会の開催について

第3回理事会 [期日]令和7年3月11日 [会場]馬頭総合福祉センター

[出席]理事:9名、監事:2名

[議事]・役員等賠償責任保険の契約締結について

- ・令和7年度事業計画について
- ・令和7年度資金収支予算について
- ・評議員会の開催について

○評議員会

定時評議員会 [期日] 令和 6 年 6 月 12 日 [会場] 馬頭総合福祉センター

[出席] 評議員: 15 名 理事: 1 名 監事: 2 名

[議事] ・令和 5 年度資金収支補正予算の専決について

・理事の選任について

・令和 5 年度事業報告について

・令和 5 年度資金収支決算について

第2回評議員会 [期日] 令和 6 年 11 月 25 日 決議の省略

[書面決議] 評議員: 20 名

[議事] ・令和 6 年度資金収支補正予算について

第3回評議員会 [期日] 令和 7 年 3 月 26 日 [会場] 馬頭総合福祉センター

[出席] 評議員: 13 名 理事: 1 名 監事: 2 名

[議事] ・令和 7 年度事業計画について

・令和 7 年度資金収支予算について

○監査

監事による監査 [期日] 令和 6 年 5 月 16 日 [会場] 馬頭総合福祉センター

[出席] 監事: 2 名

[内容] ・令和 5 年度事業実施状況について

・令和 5 年度資金収支決算について

税理士事務所による監査(茂木真和税理士事務所)

[期日] 令和 6 年 5 月 14 日 [会場] 馬頭総合福祉センター

[内容] ・令和 5 年度資金収支決算について

・令和 5 年度資産状況について

○評議員選任・解任委員会 [期日] 令和 6 年 6 月 4 日 [会場] 馬頭総合福祉センター

[出席] 委員: 6 名

[内容] ・評議員の選任について

◇ 財務基盤の強化

○会員募集(募集時期: 7・8 月 会員種別: 3 種別)

行政区長や班長、民生委員・児童委員の方々の協力のもと、社会福祉協議会の活動への理解と支援を得るため、会員(会費)制度の周知により安定した財源を確保するため会員募集を行った。

	[令和 6 年度]		[令和 5 年度]	
・普通会員(1,000 円)	3,215 件	3,215,000 円	3,481 件	3,481,000 円
・賛助会員(2,000 円)	87 件	174,000 円	83 件	166,000 円
・特別会員(3,000 円)	123 件	369,000 円	125 件	375,000 円
合計		3,758,000 円		4,022,000 円

○共同募金運動(運動期間:10~12月 募金種別:5種別)

行政区長や班長、民生委員・児童委員の方々の協力のもと、共同募金の趣旨「地域の福祉、みんなで参加」の周知、共同募金の活動への理解と支援を得るため募金運動を行った。

	〔令和6年度〕	〔令和5年度〕
・個別募金	3,309,150円	3,464,400円
・法人募金	342,000円	351,000円
・学校募金	78,788円	40,481円
・職域募金	29,533円	39,543円
・学校募金	134,009円	167,738円
合計	3,893,480円	4,063,162円

○福祉振興基金の有効活用※評価額は令和7年3月31日時点

福祉振興基金の一部を国債で運用し、事業費の安定確保に取り組んだ。

〔①保有債券〕銘柄:第176回利付国債(20年)

額面:30,000,000円 利率:0.5% 評価額:23,865,000円

〔②保有債券〕銘柄:栃木県令和3年度第2回公募債(10年)

額面:10,000,000円 利率:0.13% 評価額:9,245,000円

〔③保有債券〕銘柄:第71回国際協力機構債

額面:11,000,000円 利率:0.517% 評価額:10,851,500円

○寄付受付 受付期間:随時 寄付種別:4種別

町民の方々からの善意の寄付を活用し、地域福祉活動の推進や生活困窮世帯への支援を行った。

・福祉振興基金	17件	837,972円
・福祉金庫	0件	0円
・善意銀行基金	16件	153,000円
・その他	4件	150,559円
合計	37件	1,141,531円

○寄付物品の受付 受付期間:随時

町内外の個人、団体、企業から物品の寄付を受付け、地域福祉活動の推進や生活困窮世帯への支援を行った。

- ・ボッチャ競技セット
- ・食料品(玄米、パックご飯、さつま芋等)
- ・日用品(タオル等)
- ・介護用品(衣服等・車いす・おむつ)

◇ 職員の人材確保・育成・定着

○人事・労務管理

- ・最低賃金改定による賃金体系の見直しを行った。
- ・有給休暇、育児休業等を取得しやすい環境づくりに取り組んだ。

○各種研修会への参加

2. 企画広報事業【主な財源:社協会費、寄付金】

◇ 広報・啓発活動の推進

○広報誌発行

社会福祉協議会の事業や地域のボランティア活動を広報・啓発するため、広報誌「ふくしなかがわ」を発行した。

〔発行実績〕奇数月に発行 107号～112号 計6回 各回4,800部

〔掲載内容〕事業(各種サービス)の紹介、募集及び行事予定

〔配布先〕行政区加入世帯、事業所(特別会員)、医療機関窓口

○ホームページの公開・更新

社会福祉協議会の事業を町内外に広く発信するために、ホームページやブログ、Xの運営更新を行った。

〔URL〕ホームページ <http://nakagawa.syakyo.com/>

ブログ <http://nakagawasyakyo.blog111.fc2.com/>

X <http://twitter.com/#!/NakagawaSyakyo>

○町広報誌・有線テレビ等の活用

広報誌だけでなく、社会福祉協議会の事業や地域福祉に対する理解を深め、那珂川町全体に広く周知するため、町広報誌や有線テレビを活用して随時広報を行った。

〔広報内容〕職員募集、無料法律相談、社協会員会費募集等

○リーフレット等の作成

社会福祉協議会事業一覧の更新

3. ボランティアセンター事業【主な財源:社協会費】

◇ ボランティアセンター事業(助け合いスマイルセンター)

○登録及び斡旋、情報提供

ボランティア(個人や団体)の育成や活動を支援・推進するために各種講座の開催、ボランティア情報の発信を行った。

〔登録団体数〕34団体 〔個人登録者数〕6名 〔活動斡旋数〕7件

・ボランティアコーナーの活用

・ボランティアセンターXの運用

〔アクセス数〕1,744回(前年度比:-4,002)

※TwitterからXへの仕様変更のためアクセス数減少

・なかボラちゃんコーナー設置(馬頭総合福祉センター内)

○各種講座の開催

・ボランティアサマースクール(盲導犬体験)

〔実施日〕8月6日 〔会場〕東日本盲導犬協会

〔参加者数〕小学生8名(前年度比:+1)

・ボランティア体験支援事業

〔実施時期〕8月1日～8月9日 〔活動者〕9名

〔受入施設数〕4施設

・傾聴入門講座

〔実施日〕12月5日、11日、19日 〔会場〕馬頭総合福祉センター

〔参加者〕11名

・コーヒーの淹れ方講座（シニア世代（前期高齢者）の繋がり構築）

〔開催日〕12月4日 〔会場〕馬頭広重美術館内 〔参加者数〕5名

・地域づくり講演会

〔開催日〕11月23日 〔会場〕馬頭総合福祉センター

〔参加者数〕40名 〔内容〕お互い様の助け合いの地域づくり

※福祉まつりと同日開催

○ボランティア応援事業

初回加入のボランティア活動保険料を助成し、ボランティア活動の促進を図った。

〔利用者数〕2名（前年度比：-1）

○地域ボランティア活動助成事業

地域（行政区）における住民同士の支え合い活動やボランティア活動に助成を行い、地域力の向上に取り組んだ。

活動事例：世代間交流事業、独居高齢者等訪問事業、地域文化の伝承事業、環境美化事業等

〔実施行政区数〕26行政区（前年度比：±0）

（南町、田町第1、田町第2、田町第3、田町第4、片根、健武、矢又、和見、小口、北向田、久那瀬、松野、富山、盛泉、谷川、大内、大那地、大山田下郷、小砂、小川第2、小川第3、小川第4、小川第6、小川第11、小川第14）

◇ ボランティア保険の加入促進・手続

○ボランティア活動保険

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償するため、加入促進及び手続を行った。

〔加入者数〕272名（前年度比：±0）

※事故報告、保険金請求実績 無

○ボランティア行事保険

地域福祉活動やボランティア活動の様々な行事における主催者や参加者のケガ、主催者の賠償責任を補償するため、加入手続を行った。

〔加入件数〕121行事（前年度比：+15）

※事故報告、保険金請求実績 無

◇ 福祉体験学習

○学校等への出前講座

児童・生徒が「体験」を通して「福祉」への理解・関心を深められるように出前講座を行った。

〔実施校数〕小学校2校（前年度比：-1）

中学校0校（前年度比：-1）

高等学校0校（前年度比：±0）

○総合福祉センターへの来所講座

週 1 回、馬頭高校ボランティア部の活動を馬頭総合福祉センターで実施し、活動を継続的に支援している。(ボッチャ体験等)

◇ 福祉関係実習の充実

○実習生の受入

社会福祉士、介護福祉士等の資格取得に必要な実習を受け入れた。

社会福祉士実習：受入なし

介護福祉士実習：2 名（延べ 10 日間）

ケアマネ実習：1 名（延べ 3 日間）

4. 共同募金配分金事業【主な財源：共同募金配分金】

◇ 共同募金運動の実施

○運営委員会の開催

町内における共同募金運動の計画・予算等を協議するために、運営委員会を開催。

〔開催日〕第 1 回 5 月 24 日 〔出席委員〕8 名

第 2 回 10 月 23 日 〔出席委員〕9 名

○街頭募金の実施

〔開催〕10 月 8 日 〔場所〕道の駅ばとう

〔出席者〕町長、議長、教育長、委員 7 名

○募金運動の実施（再掲）

・とちぎ安心生活支援プロジェクト(テーマ型募金)

那珂川町では、子ども食堂支援を目的に取り組んだ。

実施時期：令和 7 年 1 月～3 月

・募金百貨店プロジェクト

売上代金の一部を募金に寄付する取り組み。那珂川町では、「わみや」「なかが和苑」が事業者として参加。

◇ 共同募金配分金を活用した事業の実施

○高齢者福祉活動分野

・地域密着型ふれあい・いきいきサロンの実施

行政区等との協働により、レクリエーション(趣味活動、健康体操等)を行うことで、生きがいづくり等を図り、寝たきり、認知症・閉じこもり予防を目的に開催した。

〔開催地区〕南 町、矢 又、和 見、小 口、北向田、久那瀬(準備中)、松 野、富 山、盛 泉、谷 川、大 内、大那地、大山田下郷、大山田上郷(一時休止)、小 砂、小川第 2、小川第 3、小川第 4、小川第 5、小川第 6、小川第 11、小川第 13、小川第 14

合計 21 地区(23 行政区)(前年度比：±0)※準備中、一時休止を含む

・乳酸菌飲料宅配による見守り事業

一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、定期的に(週1回から2回)訪問して安否を確認することを目的として行った。

〔登録者数〕30名(前年度比:-5)

〔延配布数〕2,785本(前年度比:-589)

・高齢者団体(老人クラブ連合会)への助成等

老人クラブ連合会の活動に対して、様々な助成及び支援を行った。

〔助成希望〕2事業 〔内容〕運動会開催、友愛訪問(各クラブ)

○児童、青少年福祉活動分野

・ボランティア活動普及助成事業

小・中学校、高等学校の児童・生徒を対象として、「ボランティア」や「福祉」への理解と関心を高め、将来的に地域社会を支える人材を育成するため、学校への事業助成を行った。

〔活動内容〕高齢者交流活動、環境美化、特別支援学校の生徒との交流活動等

〔実施校数〕小学校 3校

中学校 2校

高等学校 1校

・高齢者と子どもの交流事業(認定こども園への助成)

「やさしさ」「思いやり」の心を育むために行われる、高齢者と子どもの交流活動への助成を行った。

〔活動内容〕デイサービス施設等への敬老の日プレゼント贈呈

〔実施園数〕2園

・交通安全傘配付

町内3小学校の新入学児童に交通安全傘の配布。馬頭小学校で贈呈式を行った。

〔対象者数〕64名(前年度比:-2)

・子育て関係団体への事業助成子育て関係団体への助成

家庭教育オピニオンリーダーこうまの会の活動に対して、様々な助成及び支援を行った。

〔助成希望〕3事業 〔内容〕研修会開催、交流会実施、イベント開催

○障がい者(児)福祉活動分野

身体障害者福祉会やひまわり父母の会の活動に対して、様々な助成及び支援を行った。

・身障福祉会

〔助成希望〕4事業 〔内容〕研修、体験、見学、健康教室

・ひまわり父母の会

〔助成希望〕2事業 〔内容〕体験、外出訓練

○ひとり親家庭福祉活動分野

母子寡婦福祉会の活動に対して、様々な助成及び支援を行った。

〔助成希望〕2事業 〔内容〕研修会開催、会員体験交流

○住民全般福祉活動分野

・地域安全見守り事業(登下校時)

老人クラブ連合会の協力により、児童の登下校の見守りを実施し安心安全なまちづくりを推進。

・福祉まつりの開催

福祉団体、ボランティア団体等の交流や活動発表、住民への福祉啓発を目的に福祉まつりを開催した。

〔開催日〕11月23日 〔会場〕馬頭総合福祉センター

〔出展団体〕19団体 〔運営協力(キッチンカー)〕3台

・広報誌ふくしながわの発行(再掲)

・「ふくしのまち」ポスター展

小学生に「福祉」や「赤い羽根共同募金」をテーマとしたポスターを作成してもらい、「福祉まつり」会場で展示会を開催した。

〔出展数〕19点(前年度比:-13)

※金賞作品は、令和7年度の赤い羽根共同募金広報ポスターとして活用する。

・災害見舞金(弔慰金)配分事業 配分実績無

・とちぎ安心生活支援プロジェクト(1月~3月実施)による「子ども食堂」への支援

〔募金額〕295,970円

5. 社会福祉金庫貸付事業【主な財源:社協会費、寄付金】

◇ 社会福祉金庫貸付

社協独自の事業として、低所得世帯や障がい者世帯等からの相談対応や小口資金の貸付等の支援を行った。

〔年度末貸付件数〕5件 〔年度新規貸付件数〕3件

6. 善意銀行事業【主な財源:寄付金】

◇ 善意銀行事業

寄付を原資として、低所得世帯への食料や光熱水費等の配分を行った。

〔配分件数〕30件※食料支援等(前年度比:+6)

〔貸付・生活困窮に関する相談件数〕564件(前年度比:-403)

7. 地域福祉事業【主な財源:社協会費、町補助金】

◇ 子育て支援事業の推進

○チャイルドシート等購入費助成金交付事業

お子様の誕生を祝うとともに、健やかな成長の一助となることを願い、チャイルドシート等購入費用の一部を助成した。

〔助成件数〕14件(前年度比:+3)

○子育て広場の開設

子育て中のお母さんの孤立感や育児不安の軽減を図るため、子どもを遊ばせながらの情報交換や交流の場所として、子育て広場を開設した。

〔開所日数〕189日 〔開設場所〕馬頭総合福祉センター

〔延利用人数〕224名(前年度比:-23)

◇ 高齢者支援事業の推進

○ふれあい・いきいきサロンの実施（センター型サロン）

福祉センターを会場に、レクリエーションや楽しい会話の時間を通じて、生きがいづくりを図り、寝たきりや認知症、閉じこもり予防を目的に開催した。※地域密着型サロンを開催していない地区が対象

〔開催回数〕4回 〔登録者数〕18名（前年度比：±0）

○訪問理容サービス事業

理容組合の協力により、外出が困難な寝たきり高齢者や重度身体障がい者等が自宅で散髪が受けられる機会を確保し、その料金の一部助成として理容券の交付を行った。

〔登録者数・延利用枚数〕8名（前年度比：+1） 14枚（前年度比：-3）

◇ 地域安心確保ネットワーク事業の推進

○地域要援護者見守り事業

- ・大内助け合い隊への活動支援
- ・南町行政区お茶会（独自サロン）活動支援

○安心キット設置事業

一人暮らし高齢者や障がい者世帯等を対象に、緊急時等に迅速かつ適切な安否確認・医療活動につなげられるように、安心キットを配付し見守り体制の強化を行った。また、民生委員の協力により、定期的に見直しを実施。

〔配付者総数〕298名 〔新規配付者数〕12名（前年度比：+10）

○ちょっから見守り活動の周知

散歩、通勤、作業をしながら日常生活の中で防犯の視点を持って、子どもや高齢者等の安全を見守る活動の周知に取り組んだ。

◇ 障がい者(児)支援事業の推進

○訪問理容サービス事業（再掲）

◇ 連絡調整事業

○福祉バスの運行

令和6年7月末廃止までの利用実績：1件

○借上げバス料金一部助成事業

福祉バスの代替として貸切バス利用料金の一部を助成し福祉団体等の活動を支援。

対象：福祉団体、行政区、ボランティア団体等

助成金額：上限4万円

◇ 移動支援事業（福祉有償運送）

一人で公共交通機関を利用するの通院が困難な障がい者を対象に、低額料金で通院できる移送サービスを提供し、在宅生活を支援する取り組みを行った。

〔運転者人数〕4名（前年度比：±0）

〔登録者数〕11名（前年度比：+1）

〔延利用者数〕89名（前年度比：-32）

◇福祉啓発事業

○障がいスポーツ体験 なかりんピックボッチャ大会

障害のある人もない人も、スポーツをとおり相互の理解を深め、交流を促進し地域共生社会の実現を図ることを目的に実施した。

〔開催日〕3月20日 〔会場〕馬頭総合福祉センター

〔参加者数〕12チーム42名

8. 法人後見事業【主な財源：県社協補助金、寄付金】

◇ 法人後見事業（準備段階）

・認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が不十分な方の権利を守るため、家庭裁判所が社会福祉協議会を成年後見人等（保佐人・補助人）に選任した場合、専門員や支援員が定期的に支援を行い、被後見人等の財産管理や必要な福祉サービス、医療が受けられるように、法律面や生活面の保護・支援を行います。

9. 補助事業【主な財源：町補助金、受託金】

◇ 在宅障がい者支援事業

福祉機器・車両の貸出事業

障がい者や虚弱な高齢者（介護認定要介護Ⅰ以下）等で、公的制度の福祉機器等の貸与が受けられない方を対象に、福祉機器・車両の貸出及びメンテナンスを行った。

〔車いす貸出〕1件（前年度比：-7）

〔ベッド貸出〕4件（前年度比：-2）

〔スロープ付車両貸出〕86件（前年度比：+17）

◇ 福祉タクシー事業

通院に公共交通機関（バス、デマンドタクシー）を利用することが困難な障がい者や虚弱な高齢者等を対象に、タクシー料金の一部助成として、タクシー券の交付を行った。

〔登録者数・延利用枚数〕21名（前年度比：-6）

1,042枚（前年度比：-235）

◇ 心配ごと相談事業

専門相談の実施（無料法律相談、介護相談）

総合相談体制の一環として、弁護士による無料法律相談を実施することにより、住民の様々な相談に応じるとともに、その問題に即した助言や他相談機関への紹介を行った。また、介護に関する相談に介護支援専門員が随時応じた。

〔法律相談開催回数〕5回（未実施1回）

〔法律相談件数〕10件（前年度比：-1）

10. 受託事業【主な財源:受託金】

◇ 馬頭総合福祉センター管理運営事業

受付等業務並びに環境衛生及び設備等の管理業務

総合福祉センターの受付業務(予約確認及び申請書の受理)、施設の清掃、施設の設備・機器等の維持を行った。

〔開館日数・延利用者数〕305 日 12,553 名(集会室・研修室等の使用者のみ)

◇ 生活福祉資金貸付制度(県社協からの受託事業)

低所得世帯や障がい者世帯等からの相談対応、申請書類の取りまとめ、償還指導などの支援を行った。

〔新規貸付件数〕0 件 〔通常貸付管理件数〕4 件 〔特例貸付管理件数〕85 件

〔特例貸付フォローアップ支援回数〕213 回

◇ 生活支援コーディネーター設置事業(町からの受託事業)

地域における生活支援・介護予防サービス提供体制の整備に向けた取り組みを行った。

○関係機関とのネットワーク構築

- ・各種研修会・会議への参加
- ・地域力強化推進員との連携
- ・専門職を対象とした意見交換会の開催

〔開催日〕3 月 14 日 〔対象〕町内居宅介護支援事業所 4 ヶ所

○地域資源の把握と新規開拓

- ・大内助け合い隊への活動支援(再掲)
 - ・南町行政区お茶会(独自サロン)活動支援(再掲)
 - ・デマンドタクシーを活用した買い物ツアー実施支援
- 〔実施行政区〕浄法寺 〔回数〕11 回(R 6.5~R 7.3 月 月 1 回実施)

○地域支援体制の構築

- ・行政区を対象に地域支え合い活動の充実
地域ボランティア活動助成事業の実施
ふれあい・いきいきサロン事業の支援及び新規開催への働きかけ
ながら見守り普及に向けた周知活動
- ・シニア世代(前期高齢者)の繋がり構築(再掲)

○担い手の養成

地域づくり講演会の開催(再掲)

○その他

- ・情報収集及びネットワークの構築
- ・ふくしなかがわ
- ・Xによる各地域開催行事等の啓発

◇ 福祉相談事業(町からの受託事業)

相談支援包括化推進員を配置し、複合的な課題を抱える世帯や既存の制度では対応できない要援護者に対し、関係機関と連携して課題解決への助言や制度利用への橋渡しを行った。
〔支援計画書作成件数〕7件(前年度比:-2)

◇ 介護予防普及啓発事業(町からの受託事業)

高齢者が身近な場所に集い、運動や交流等をととして介護予防や閉じこもり等の防止を推進するとともに、住み慣れた地域で可能な限り自立した日常生活が営めるよう実施した。
〔開催地区〕14地区 〔延回数〕70回 〔延参加者数〕610名

◇ 日常生活自立支援事業(あすてらす)【主な財源:県社協受託金】

判断能力が不十分な障がい者・高齢者の福祉サービス利用手続き代行、金銭管理の支援を行った。
〔人員体制〕専門員1名 生活支援員7名(内社協職員4名)
〔実利用者数〕16名(前年度比:+1)
〔延支援回数〕208回(前年度比:+14)
〔相談件数〕1,141件(前年度比:-193)

◇ 日本赤十字社事業の推進

○会員増強運動と会費募集の実施

行政区長や班長、民生委員・児童委員の協力のもと、日本赤十字社の趣旨の周知及び活動への理解と支援を得るために会費募集を行った。

	〔令和6年度〕	〔令和5年度〕
・協力会員(個人)	1,730,500円	1,806,150円
・会員(法人等)	248,148円	249,730円
・寄附	10,500円	12,500円
合計	1,989,148円	2,068,380円

○救急法等講習会の実施

町内各小・中、高等学校へ開催希望を確認し、希望がなかったため実施せず。

○災害救護の実施

災害に備えて毛布、緊急セット等の救援物資を備蓄しており必要に応じて被災者(風水害・地震・火災等)の方々に交付を行っている。
〔救援物資交付数〕0件

○災害義援金の募集※分区窓口

〔名称〕	〔義援金額〕
令和6年能登半島地震災害義援金	55,575円
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	4,843円

※日本赤十字社を通じて被災地に送金した。

【会計区分：障害福祉サービス事業拠点】

11. 居宅介護等事業【主な財源：障害福祉サービス報酬】

◇ 居宅介護事業〔障害者総合支援法〕

身体・知的・精神等の障がいを持つ方に対して、訪問介護員がその自宅を訪問して入浴・排せつ・食事等の介護及び日常生活上の支援等を行った。

〔実利用者数〕14名（前年度比：-1）

〔延派遣回数・延派遣時間〕625回 762.5時間

〔通院等介助〕129回（前年度比：-28）

12. 相談支援事業【主な財源：障害福祉サービス報酬】

◇ 一般相談支援事業

○地域移行支援

入所施設や病院等からの退所・退院にあたって、支援が必要な方に施設や病院等と連携しつつ、地域移行に向けた支援を行った。

○地域定着支援

施設や病院から退所・退院した方で、地域生活が不安な方に対しての支援を行った。

〔支援計画作成件数〕1件（定着1件、移行0件）

◇ 特定相談支援事業

○計画相談支援

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要な方に、自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用に向け利用計画を作成し、サービス事業者との連絡調整等を行った。

〔利用計画書作成件数〕46件

※〔特定・一般相談に関する相談件数〕974件

【会計区分：介護保険事業拠点】

13. 訪問介護事業【主な財源：介護報酬、受託金】

◇ 訪問介護事業〔介護保険〕

介護が必要な方（介護認定：要介護）に対して、訪問介護員がその自宅を訪問して入浴・排せつ・食事等の介護及び日常生活上の支援等を行った。

1日当たりの平均利用者数 7.6 名（前年度比：+0.1） 平均介護度 2.4（前年度比：-0.1）

・身体介護〔延派遣回数・延派遣時間〕361 回 377.25 時間

・身体生活〔延派遣回数・延派遣時間〕848 回 1533 時間

・生活援助〔延派遣回数・延派遣時間〕754 回 735.75 時間

◇ 第1号訪問事業〔総合事業（町）〕

支援が必要な方（介護認定：要支援、事業対象者）に対して、訪問介護員がその自宅を訪問して入浴・排せつ・食事等の介護及び日常生活上の支援等を行った。

1日当たりの平均利用者数 2.0 名（前年度比：±0） 平均介護度 0.4（前年度比：±0）

〔延派遣回数・延派遣時間〕486 回 486 時間

◇ 特例ホームヘルパー派遣事業（町受託事業）

他制度等の対象にならないが、ホームヘルパーの派遣を行わないと在宅における生活等が困難な方に対して、訪問介護員がその自宅を訪問して入浴・排せつ・食事等の介護及び日常生活上の支援等を行う。〔利用実績〕なし

◇ 資質向上のための研修等

資質向上のため行政や県社協等が主催する研修会へ積極的に参加したほか、法令に基づいた内容での自主研修を行い、スタッフのスキルアップを図った。

〔研修参加〕内部研修 4 回 外部研修 1 回

14. 通所介護事業【主な財源：介護報酬】

◇ 通所介護事業〔介護保険〕

介護が必要な方（介護認定：要介護）に対して、食事の提供（これらに伴う支援を含む）、日常生活に関する相談・助言、健康状態の確認などの日常生活上の支援等を行った。

〔運営日数〕247 日 〔平均介護度〕1.7（前年度比：+0.1）

〔延利用者数〕3,946 名（前年度比：+359）

〔1日当りの平均利用者数〕16.0 名（前年度比：+1.4）

◇ 第1号通所事業〔総合事業（町）〕

支援が必要な方（介護認定：要支援、事業対象者）に対して、食事の提供（これらに伴う支援を含む）、日常生活に関する相談・助言、健康状態の確認などの日常生活上の支援等を行った。

〔運営日数〕247 日 〔平均介護度〕0.4（前年度比：±0）

〔延利用者数〕694 名（前年度比：+88）

〔1日当りの平均利用者数〕2.8 名（前年度比：+0.3）

◇ 資質向上のための研修等

資質向上のため行政や県社協等が主催する研修会へ積極的に参加したほか、法令に基づき自主研修会を行い、スタッフのスキルアップを図った。

〔研修参加〕内部研修 8 回 外部研修 4 回

15. 居宅介護支援事業【主な財源：介護報酬】

◇ 居宅介護支援事業

介護が必要な方（介護認定：要介護）に対して、保健・医療・福祉サービスの適切な利用等が出来るように居宅サービス計画を作成し、介護サービス事業者との連絡調整等を行った。また、介護保険申請の代行、介護保険の支給限度基準額の上限管理及び給付管理業務、必要に応じた介護保険施設への紹介業務も併せて行った。

〔延利用者数〕1,040 名（前年度比：-75）

〔ケアマネ1人当りの担当人数〕28.9 名（前年度比：-2）

◇ 介護予防サービス計画作成等事業（町からの受託事業）

要支援 1・2 又は事業対象者に対して、保健・医療・福祉サービスの適切な利用等が出来るように居宅サービス計画を作成し、介護サービス事業者との連絡調整等を行った。

〔延利用者数〕205 名（前年度比：+84）

◇ 資質向上のための研修等

資質向上のため行政や県社協等が主催する研修会へ積極的に参加したほか、他事業所と共同で研修会を行うなど、スタッフのスキルアップを図った。

〔研修参加〕内部研修 5 回 外部研修 19 回

※介護事業所全体で実施した研修

- ・感染症対策研修
- ・高齢者虐待防止研修
- ・身体拘束に関する研修
- ・自然災害 BCP に基づく訓練